



# 抗酸化研究部門

## Division of anti-Oxidant Research

〒501-1194

E-mail : [info@antioxidantres.jp](mailto:info@antioxidantres.jp)

TEL : 058-230-6548

FAX : 058-230-6549

---

## 目 次

1. 部門長あいさつ .....	207
2. 組織 .....	207
3. 教員の研究活動 .....	207
4. 学外での共同研究者 .....	208
5. メディア報道 .....	208

# 1. 部門長あいさつ

## 健康長寿社会への貢献

抗酸化研究部門長 犬房 春彦

平成 25 年に開設された当研究部門は、今年で 5 年目を迎えることになりました。多くの分野や先生方のご協力と円滑に手続きを進めて下さった皆様、そして研究を支えて下さった多くの方々に、この場をおかりして感謝申し上げます。

当研究部門の最終研究目標は“健康長寿社会への貢献”です。これまで実施した細胞や動物を使用した基礎実験の地固めをし、今後はヒトへの効果を実証すると同時にその成果を配信していく時期に来ています。アルツハイマーや糖尿病、認知症やガンなどのほとんどの病気には、何かのかたちで酸化ストレスが関与しています。そのメカニズムを知り正しい抗酸化知識を持つことは、これらの病態を予防することにつながると確信しております。高齢化社会が進んだ現在だからこそ、予防の大切さを岐阜大学から配信できるよう、スタッフ一同頑張る所存です。今後ともご協力の程よろしく願います。

## 2. 組織

特任教授	犬房 春彦
特任助教	岡田 直美
研究員	原川 義哲
研究員	片山 千香子

## 3. 教員の研究活動

### 【学会】

(国外学会)

1. INUFUSA Haruhiko, ABE Koji. NEUROPROTECTIVE EFFECTS OF TWENDEE X. 19<sup>TH</sup> ISANH International Conference on Oxidative Stress Reduction, Redox Homeostasis & Antioxidants. Paris, France. 2017. 6.
2. INUFUSA Haruhiko, EFFECTS OF TWENDEE X ON HUMAN CANCER CELL GROWTH AND METASTASIS. 8<sup>TH</sup> World Congress on TARGETING MITOCHONDRIA. Berlin, Germany. 2017. 10.

(国内学会)

1. 犬房春彦、草木桃子、山下轍、阿部康二 抗酸化剤 Twendee X の脳神経系における作用の基盤的検討. 第 7 回日本認知症予防学会学術集会、岡山、2017. 9.
2. 犬房春彦 抗酸化配合剤 Twendee X の癌に対する作用. 第 15 回日本機能性食品医用学会総会、東京、2017. 12

### 【教育】

1. 犬房春彦 本当に長生きできる食生活と生活習慣の提案 糖尿病、認知症、高血圧、ガンは予防できます 栄中日文化センター、愛知、2017. 4~6 (全 3 回)
2. 犬房春彦 酸化ストレスを抑制できたら何が起こるか? 基礎と臨床データ 東北大学加齢研究所セミナー、宮城、2017. 7
3. 犬房春彦 本当に長生きできる食生活と生活習慣の提案 糖尿病、認知症、高血圧、ガンは予防できます 中日文化センター、岐阜、2017. 7~9 (全 3 回)

4. 犬房春彦体のさび予防で健康長寿 大垣中日文化センター、岐阜、2017.10
5. 犬房春彦 酸化ストレスを抑えて、ガンを予防しましょう 生命科学への扉～研究が皆さんの日常生活にもたらすもの～ 岐阜大学サテライトキャンパス 2017.11
6. 岡田直美 “もしもガンになってもとことん戦って打ち勝とう！” 生命科学への扉～研究が皆さんの日常生活にもたらすもの～ 岐阜大学サテライトキャンパス 2017.11
7. 犬房春彦 体のサビが認知症や成人病をつくる 認知症、ガン、糖尿病、高血圧、花粉症、にきびも酸化ストレスが原因だった！ 第36回健康博覧会セミナー、東京、2018.1
8. 犬房春彦 アレルギー疾患はサビが原因！？ 第1回花粉症、第2回皮膚炎、第3回潰瘍性大腸炎 栄中日文化センター、愛知、2017.1～3
9. 犬房春彦 アレルギー疾患はサビが原因！？ 第1回花粉症、第2回皮膚炎、第3回潰瘍性大腸炎 岐阜中日文化センター、岐阜、2017.1～3
10. 犬房春彦 アレルギー疾患はサビが原因！？ 第1回花粉症、第2回皮膚炎、第3回潰瘍性大腸炎 四日市中日文化センター、三重、2017.1～3

## 4. 学外での共同研究者

公益財団法人ルイ・パストゥール医学研究所	吉川敏一理事長
東京大学大学院農学生命科学研究科	局博一教授
岡山大学医学部脳神経内科	阿部康二教授
中部大学応用生物学部	長谷川浩一先生
広島大学大学院分子内科学	中島 拓先生
フランス科学アカデミー	クリスチャン・アマトーレ教授
レーゲンスブルグ大学（ドイツ）	ヘルムート・デュルシュラーグ博士
LYSANDO（ドイツ・レーゲンスブルク）	
ICDD（フランス・ジェメノス）	
サイアムセメントグループ（SCG タイ・バンコク）	

## 5. メディア報道

テレビ出演

2017年7月6日放送 NHK 美と若さの新常識

お酒は“老ける毒”！若さを守る対策術 にビデオ出演

雑誌

[ソムリエ] 158 2017.9月号

田崎真也会長特別対談

亜硫酸無添加ワインは、ポリフェノールの量が減る

WINE WHAT! ? (Vol.16-Vol.21)

歌舞台界でもスパリブは大人気!

WINE WHAT!?  
2017年4月5日発行

スパリブで若返る?

WINE WHAT!?  
2017年6月5日発行

ポリフェノールが入っていてもワインの飲み過ぎは?

WINE WHAT!?  
2017年8月5日発行

ワインジャーナリズムのバイオニア大いに語る

WINE WHAT!?  
2017年10月5日発行

これは必読! その世界トップアロが語る防菌剤添加について

WINE WHAT!?  
2017年12月5日発行

疲労も花粉症も原因は酸化ストレス?

WINE WHAT!?  
2018年2月5日発行

## ●編集後記

生命科学総合研究支援センター年報は、本号で15冊目の節目を迎える事ができました。年報作成にあたり、多大なるご協力を頂きました関係者の方々に厚く御礼申し上げます。

当センターは大型機器の共同利用、技術サポート、啓蒙活動などを通じて、学内外の研究活動を支えるべく支援を続けております。年々、共同設備や支援体制が整備され、センター利用者数や研究実績は着実に増加しております。

発足から16年目となりました生命科学総合研究支援センターは、平成30年4月から「研究推進・社会連携機構 科学研究基盤センター」へと改組・改称され、学内外における役割や期待も一層増しております。スタッフ一同、今後も更なる努力を積み重ね、支援の拡大と強化に努める所存です。センター利用者や支援者の皆様には、更なるご支援とご理解を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

平成30年7月

編集担当  
研究推進・社会連携機構  
科学研究基盤センター  
嫌気性菌研究分野  
後藤 隆次